

刊夕日八月三



定額一圓五角... 發行所 常磐毎日新聞社... 印刷所 常磐毎日新聞社

### ハルピン事變籠城記 (一)

ハルピン日本小學校長 白髮隆孫氏寄

はしがき

吾等は祖國日本を離れて政令治からざる中國に治外法權を有するだけ又それだけ、他の文明諸國に移住生活するものよりも、遙かに自己の生命財産に關して脅威を感じるものがある。

吾等の此生活環境は恰も泥中の白蓮の如き感がある一度風波起らんか、泥水飛沫忽ち狂ふて純白なる花を汚し其美を奪ふ如く、一度馬賊、匪賊、暴徒起つて騷亂の巷と化さんか、昨夜まで人民保護の名の下に立ちたる巡警も、今朝まで國家守護の譽の下にありたる將士も夕には疾風迅雷、忽ち良民に慘殺、暴行、掠奪、鬼畜も敢えてなし能はざる蠻行を逞ふする。

かゝる地域に生活する吾等は止むなく自衛衛「常に備へよ」の下に万一の場合に對する途を講ずることを忘れてはならぬ。昨年九月爆彈事件、齊々哈爾濱戰爭以來吾等在留民の民族的精神は彌々高潮に達し「如何なる場合と雖も一人たりとも犬死はしない」と爾來同胞老いも若きも父祖傳來の民族精神を發揮すべく、男子は毎夕銃の操法を修得し緊張の裡に多難の昭和六年を送つた。

### 高月會句抄 (六)

〔二月例會〕

大都市を去るや車窓に風高き  
大風の動かぬ空や麥青し  
大風の上れる濱の日和かな  
切れ風や虚空に舞ひて山の端に

秀峰 城山 天仙 耕影

吉林軍はハルピン市街の一角、傳家街を占領し暴行、掠奪、慘殺を逞ふし遂に吾等は籠城生活の止むなきに至つた。

刻々と迫る險惡なる空気が吾等をして危機に迫らしめ、恰もかの尼港に於ける慘劇の直前の如き不安なる環境に陥らしめたのであつた。

時恰も二月五日黄昏、皇軍入城す、十一日間の陰慘なる籠城の同胞一日千秋の思ひして待らたる吾皇軍を迎ふ萬歳の聲はかすれて唯々感激！落涙！無言！

「日本人は皆無事でしたか」といふ有難い言葉、貴い言葉ぞこれこそ、天皇の命令に依つて活動する將士、天皇の統率し給ふ皇軍ならでは出る言葉ではない。吾等は全く陛下の御聲に接し如く感激其極に達し聖恩の優渥なることを感得した。爾來市中到るところ日の丸の旗纏り星章の輝きを見る、冬なほ寒けれど吾等は春の心地して各々生業に勵むことを得たのである。

これ全く吾皇威と忠勇なる軍人の賜と、同情ある八千萬の後援の結果である。吾等は感銘至極茲に籠城生活の一端を記して御覽に供し挨拶にかへた次第である。市中は表面平穩なるも便衣

隊横行の兆あり、昨夕〇〇〇方面に銃聲數發、今朝〇〇〇一名狙撃された(皇紀二五九二年紀元節祝日)

### 新入學生への

「プレゼントには……」  
御携帶用に  
ゼヒ時計を  
お獎め致します

常に商品の確實と流行の粹は時代のスタイルを切つて顧客本位を生命として各位様の御来店をお待ちして居ります

御注文及び修理は  
電話一九五番へ  
鐵道省御用

金 光 堂  
平五(釜屋向ひ)  
電話一九五番

各品業營  
各國時計類  
貴金屬眼鏡  
蓄音機各種  
及レコーダ  
懷中電燈

貸切の●●●  
御用命は?  
獅子吼(四四九)ノ勢デ  
真先ニ……(マツサキ)  
三九ニタクシーへ!!!

外科  
門 專 光 X  
科 線  
上田外科醫院  
平町南町  
電話一二九番

毛糸  
春向新色澤山入荷致しました  
御値段は  
一オンス十五錢

三毛ヤ糸店

眼鏡特賣  
高級レンズ  
獨逸ユーゲンネ光學工場製  
ブノクトロヒ  
特價 三圓五十錢  
舶來生地メニスレンズ  
近視用 一圓より  
遠視用 三圓より  
三稜鏡 三圓より  
學生向クローム(三十錢)  
實用梓セル卷より  
其他最新型各種  
特 價 提 供  
醫家の處方に依り眼鏡親切に調製  
◇見習店員入用十四五歳位

丸堀藥局  
小兒ノかん。むしニあかひき丸堀藥局  
平町二丁目  
電話三三六

### 六日 開催 詩南社短歌會詠草

風 (一一)

辛ふじて着きたる村を掩ひ立つ森打つ風の怒濤に似たり  
高久 晚霞

声の芽のほつ／＼抽ける水低くし風吹き立ちぬ深みかも  
朝曇りふかき丘べを渡る風寒々としもふかれたりけり

離りぬて久しくなりぬ舞ひくれし妓のかすはせの親しき思ふ  
山下 多賀子

空關にやすらふたちまち吹雪して庭の木立もうち折られけり  
湯淺 榮美花

ふぶきしてブリツヂ隣るそのせつなすべらんばかりにいてつきむたり  
佐々木 顯

さ／＼と響る笹の戯れ風さして知らずときめくおのが心は  
露おける笹の葉端に春風のさよ戯れてゆるる静けさ

トローツ置きすてられてゐる丘の冬さながらの風曇りなり  
小山 田 滋

煤煙を吹く朝風にひるがへる二すじほどの轍なりけり(鑛夫出征)  
風香る樹木の下にたわむる、仔犬の胸のやはらか毛並

風の夜を語る術なく只一人留守居に餅を焼香を嗅ぐ  
三村 哲朗

爐ばたにて毛糸あむ手をいとみつゝみとりの夜半に風の音さく  
吹きあれし風音たへて月高く物影黒く地に凍りづけ

風荒む舞子の濱に一人われ濱邊の風に身をふかせ居り  
大竹 秋平

心病みて山訪となし我にせば餘りわびしく風もつれなし  
師走の暮方郊外の空にタコが二つ風はほこりを巻きあげてゐる  
吉 田 一

### 今度こそは

## 運轉延長 實現

郡山から日歸りに 平郡線を利便多く

磐越東線午後八時郡山發上り最終列車が小野新町までしか運轉されないのが石城地方の人は福島方面に所要の場合殊に町村理事者諸官衙役人等は著しく不便を感じこの列車の平まで運轉延長を過般屢々主務省に陳情してゐたが未だに實現しないのでこの程再び石城町村長會で決議し今回偶々同郡から三代議士を出すに至つたのでこれを

機會に 應援を得尙縣の助力も得て大々的に目的貫徹の運動を起す事となつた福島へ日歸りするには平午前五時四十分發でなくば困難であるししかも午後からの要件では一泊せねばむつかしい即ち郡山發午後五時三十分に乗らなければ歸平出來ず交通機關として極めて利便が少い譯である

### 教授法研究

第一區教育總集會 石城郡第一區教育總集會は

### 打つて

## 一丸

三ヶ村聯合 木炭の組合

石城郡箕輪、永戸、澤渡地方山間部落の木炭製産は毎年十五萬俵乃至廿萬俵に達し同地方有数の産物と稱されて居るが未だ各製造業者間に何等の機關なき爲め箕輪村の大和田榮雄氏が主唱する三ヶ村木炭製産者を一丸とした組合を組織して從來よりも其成績をあげんとする案が具体化し近く是れが實現を見るであらうと

### 忠魂碑前で

## 陸軍記念祭

既報十日の陸軍記念日當日平在郷軍人分會では午後一時より松ヶ岡公園忠魂碑前にて全員集合記念祭を舉行し終つて住吉屋本店に於いて分會總會を開き分會長より本年度豫算並に事業の報告等を行ふと

### 意見交換

肥料購入に 石城郡植田町農會では来る十五日午後一時より同町小学校に附近五ヶ村農會員を招集春期肥料購入の件に就き各農會員の意見交換會を催す筈である

### 平町人事

- △鎌田一三 福本傳吉氏二
- △彌宜町六八 古市實氏三
- △南町六七 大谷齊喜氏長
- △五丁目一八 引地晴氏
- △三異定夫

### 謝類焼御見舞

今曉小生所有長屋類焼の際には早速御駆付消火に御盡力被下難有御厚禮申上候目下混雜中に付乍略儀以紙上御禮申述度如御御座候  
三月八日

六丁目 正木建具店 正木廣造

### 謝近火御見舞

今曉近火の際は早速御見舞被下御蔭様を以つて類焼を免れ難有御厚禮申上借早速拜趨御禮申上之處後仕末等にて混雜中に乍略儀以紙上不取敢御禮申上度如斯御座候  
昭和七年三月八日

- 六丁目 荒川 淺次郎
- 同八七番地 佐藤 榮吉
- 同 木村 外科醫院
- 同 敷島 テント商會
- 同 大島 勇八
- 同 正木 旭松

### ◎火事は油断から

時局重大の秋です、絶対火事を起さぬセロン劑を塗る事に致しませう

セロン防火劑東北發賣元

東北セロン商會 平町白銀町(電三九三)

### ハルピン宿營通信

## 一同は唯々

## 報國の誠を

### 盡して止まず!

ミルレル兵營にて  
歩兵第卅聯隊本部 江尻進氏

謹啓餘寒尙去りやらず春光の訪ぶる、日向遠しの感有之候處御高堂益々御壯健にて御繁榮の段慶賀奉存候。 偕小兵ハルピン

入城以來 已に一ヶ月に垂々とするにも拘はらず戦斗後の整備及日常の業務累積に加ふるに生來の鈍才を以てする爲免角御通信も途絶へ勝にて心掛りには存じ居り乍ら失禮のみ仕り誠に申譯無之奉深謝候。現在當聯隊は相變らずミルレルの元支那兵營に起居致し戦斗後の

整備完了の爲、そろ／＼平時業務に復し居り本部は事務に力を注ぎ中隊は教練、体操に熱中して爾後の行動に萬遺算なきを期し居り候、萬里の異域にありて然かも敵の兵營に起居して兵士達が遊戯に嬉々として笑ふ其反面には、常に警備勤務に寸分の隙なき緊張振に、は誠に涙ぐましさもの有之候も一同は唯々一途に報國の誠を盡して止まずの意氣と、銃後の人々の御期待を裏切らざる様努力致居候間かまへて

さへ有候、當地在留日本人は勿論白系露人の生等に對する好意は又非常なるものにして生等をして異境に在るを忘れしむるもの有之候、表面事變一段落の形態も極めてデリケートにして滿蒙の暗雲尙

低迷する 折、生等の覺悟は已に己に一點に集注せられ居り候間之亦御懸念無之様願上候、唯この上は相變らずの御聲援と御鞭達を伏して奉懇願候 先は右亂文其意を盡さず候も近況御通知申上度如斯御座候 敬具

## 今曉六丁目

# 十二戸焼く

## 原因と火元不明

## 損害一萬圓

今朝午前二時頃平町六丁目九番地附近より發火微風なれど乾燥せる折柄とて忽ち火は八、九、十の各番地に燃え擴がり警鐘亂打と共に平消防組は勿論附近の神谷、夏井、内郷、赤井、平窪、高久、飯野の各消防組出動消火に盡力中に全燒三棟六戸、半燒三棟七戸、内一戸空屋合計十三戸の全半燒戸數を出し午前三時半鎮火したが發火の原因及び火元は目下平署で取調中に屬し損害約一萬圓に及んで居ると

## 古兵會

## 湯本に組織

石城郡湯本町出身で日清日

露の戦役を始め北清天津ンベリヤ等の各事變に出征した當時一騎當千の猛者連中が六日古兵會を組織會長に歩兵伍長で功七級をもつてゐる坂本佐内氏を推し護國思想の普及から出征家族の慰問或は救護等に盡すことなつた會員は曰く

## 平健康相談所

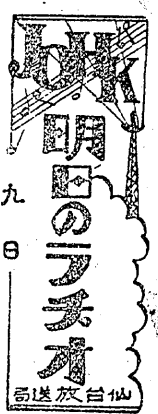
## 四月一日開所

## 建築殆ど竣工

平町田町停車場通りに建築中の平郵便局健康相談所は殆ど竣工を見たので四月一日から開所し一般簡易保險加入者の相談に應ずる事が出来る事となつた

## 前借金を踏む

茨城縣多賀郡關本町生れ中島テツ(二)は去月廿七日千葉縣



明日のラジオ

今晚の部  
後六、〇〇 (子供の時間) 童話劇「椿」 胡蝶座  
後七、三〇 講演「趣味としての香道」一峰貞晴  
後八、〇〇 清元「六歌仙容彩」清元延玉葉外  
後八、三〇 小唄 春日とよ壽外  
後八、五〇 獨唱 マチエ エステレビタインソン

明日の部  
後九、三〇 (奉天より) 後九、四〇 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

明日の部  
後九、一〇 料理献立「スカツエツグス」朝倉長吉  
前一〇、三〇 家庭講座「家計簿記」(四)大原信徳  
後〇、〇五 琵琶「船辨慶」坂井申水

東葛飾郡中山町周旋業香取幸吉(三)の紹介で石城郡内郷村宇田料理店越中屋事石山與四郎方へ酌婦として前借金百五十圓を以つて住込んだが去る六日夜七時頃處用と稱して行衛を晦して了つたので抱主は本日平署へ告訴した

五人の増加となり賃銀一万九千五百十九圓廿六錢餘の増を示して居るが貨物の發送數は二千六百七十三噸で千六百四噸の減到着も八千五百八十三噸、五千六百十二噸の減收入四千二百二十七圓七八錢は千八百六圓八十一錢の減収となつて居るが常磐炭の輸送減少と貨物自動車の發達によつて非常な影響を受けて居る爲である

## 總選舉と

## 兵員移動で

## 平驛の旅客が増加

## 貨物は自動車に奪る

平驛に於ける去月中の統計を見るに流石に舊正月と總選舉並に兵員の移動等が有つた爲め旅客はいづれも増

## 平職業紹介所報告

- 求人部  
△女中 卅才迄 尋卒 月十圓位(東京市某)
- △女中兼兒守 尋卒 仕着外四圓位(四倉町某教員)
- △雜役 廿才前後 尋卒 月十圓迄(平町某食糧品店)
- △賣子 廿才迄 尋卒 給料歩合(小野新町某)
- 求職部  
△自動車運轉手 一八才 高卒 給料面談(平町某)
- △雜夫 廿五才 高卒 給

# 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

美味! 芳醇!

料面談(内郷村某) △配達 廿二才 中學半退 給料面談(湯本町某) △外交員 卅二才 南卒 給料面談(好間村某) △土工夫 廿二才 高卒 給料面談(平町某)

小説



【載轉禁】

渡邊 默禪 作  
布施平八郎 講

別れ路 (1)

高野の兇行は彼にとつて偶然に與へられた何よりも好い機會であり、且つ好い材料であつた、彼は隙さずそれを捉へた、そして悪魔のやうな微笑の下に厄介な獅子身中の蟲をひねりつぶさうとした。

高野を暗い獄舎のうち投込んで了へばもう自分の地位は安全であると、愆ふ考へたのであつたが、それは愚かな悪人の智慧であつた。二日とたぬうちにその考へは裏切られた。高野は警察で刑事主任の警部に調べられた折に凡ての事實を素直に是認した、脅迫殺傷罪で検事局へ送られるといふ際に警部に、向つて言つた「少しも包み隠さず申立てたのであるから、貴官も定めし御同情下さつたこと、思ひます。つきましてお願ひしたいことは私が服役した後のことをよく依頼して置きたいですから御手数ですがどうぞ、東京深川の美嚴寺にある僧侶の浄念……木村清作といふ者をお呼出しの上に面會させて下さるやうに」と嘆願した。警部はそれを拒む理由が

なかつた、検事局送りを経て豫して直と深川警察へ電話方を依頼した。ちう／＼と照りつける夏の太陽を賛美するかのやうに煮えるやうな聲で「火の傘」の曲を合奏してゐる油蟬の唄も、涼しい時雨のや



うに聞かれる緑の森……そのなかに包まれた美嚴寺の門前に樟だの線香だのを賣つてゐる小さな家があつた。其處へ暑いさかりの午後透しぬいの糸も切れかゝつた古い涼傘の影がさして、中形浴衣にメレンスの帯といふ質素な風装の若い娘が入

つて来た。「小母さん、今日は……」門口で聲をかけた。それはすつかり面やつれのした千代子であつた、と店先の水道栓で洗濯物を洗つてゐた婆さんが「おや、入らつしやい、急にお暑くなりましたのね、まアお七んさいさいまし、今浄念さんはお墓の方へ出かけて行つたやうですから、直ぐに戻つてまゐりませうよ」

もう少し早く入らつしやるとよござんたのに……お兄さんがお見えになつて、つい先刻お歸りになつたばかりですよ。「あら、兄が来ましたか」涼傘を畳んで狭い六疊一間き座敷へ上ると間もなく關佛桶を片手に戻つて

淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病 腸虫病  
門專 十二指  
院醫科 陽病 村松 町南平  
〇七一話電

来たのが白衣に黒の腰ごろもをつけた清作の浄念であつた。「イヨ、お嬢さん、お珍しいぢやありませんか、この暑いのによくまア……お婆さん、湯が沸いてゐるか、お茶を入れて呉んなお茶を……」浄念は目的のした顔に「た」と笑をうかべながらお厨子の前に据えた經札の側にどつこいしよと坐り込んだ。「いや、えらい御無沙汰をしました、この前に二度ばかりお尋ね下さつたさうでしたが、生憎と他へ出かけて後で飛んだ失禮を……あなた今、活動寫眞の映畫とかをこしらへる會社にお勤めだつてえ話ですが直實ですか」

お醬油は……ヤマフル  
醬油味噌 たひら 正宗 鯉節 食料品  
鹽 屋  
山崎合名會社  
福島縣平町電話營業部二釀造工場  
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

生徒募集  
卒業は一ケ年  
申込は四月八日迄  
入學は無試験  
平南町  
平産婆學校  
校長 清野 キヨ  
電話三〇七番

玉屋洋品店  
平町田町通電話二五六番

大塚の 學生靴!!!  
耐久新製品  
編上靴 六〇〇  
半靴 五〇〇  
不安心なるキカイ靴より、安心得る弊店の靴を……  
大塚店製靴部 電話七七番  
高橋時計店  
貴金屬 時計及眼鏡類 懷中電燈 キミガヨ電氣 ランプ特約店  
高橋時計店 平町橋路小